

フィールド言語学ワークショップ
ELAN ワークショップ受講生募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研) では、「フィールド言語学ワークショップ」として、下記の要領で映像・音声処理ソフト ELAN のワークショップを行います。ELAN は現地調査等で得られた映像データ、音声データへのアノテーション付与に役立つソフトです。ELAN の詳細については、<http://www.lat-mpi.eu/tools/elan/> をご覧ください。受講希望者は下記により申し込んでください。

なお、このワークショップは、文部科学省特別経費による「急速に失われつつある言語多様性に関する国際研究連携体制の構築 (言語ダイナミクス科学研究プロジェクト, 略称:LingDy)」事業のひとつとして開催されるものです。

記

1. 開催日時：2010年7月19日 (月・祝日) 10:30~17:00
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研)
3階マルチメディアセミナー室 (306室)
3. プログラム (予定) :

講師：Anthony Jukes 氏 (La Trobe University, AA 研共同研究員)

使用言語：英語

- (1) 10:00~12:00 An introduction to ELAN for beginners
— Anthony Jukes (La Trobe University/AA 研共同研究員)
- (2) 13:30~14:30 Exchanging data between Shoe/Toolbox and ELAN.
- (3) 15:00~17:00 Individual practice/consultation time

ワークショップは、ソフトウェアの概略に関する解説 (午前) と、各参加者のデータを持ち寄って行う実習 (午後) の二部構成になります。(解説・実習どちらかだけの参加も可能です。)

注意：

- 1) 出来るだけノートパソコン (Windows または、Windows 環境の入った Mac) に ELAN をインストールの上、持参してください。ELAN は、次の URL からダウンロードできます。<http://www.lat-mpi.eu/tools/elan/download>
ノートパソコンの貸出を希望する方は参加申込時に申し出てください (数に限りがあります)。
- 2) 午後のプログラムのうち、(2)の講義は Shoebox/Toolbox についての知識を前提としています。

3) 午後のプログラムのうち、(3)の実習は、実際に映像資料（または音声資料）を持っており、それをELANを使って処理したいという方を対象としています。参加希望の方は、サンプル用のファイルを用意してください。

4) Shoebox/Toolboxに関する知識のない方、また、まだ自分の資料は持っていないがELANについての初歩的知識を学びたいという方は、午前中だけの参加でも結構です。

4. 応募資格：

記述言語学分野の学生・研究者（原則として修士課程在籍以上）を原則とします。

5. 応募方法：

次の情報を下記「6. 申込み先」に電子メールにより申し込んでください。電子メールの件名に必ず「フィールド言語学WS：ELAN WS受講希望」とお書きください。

① 氏名（ふりがな）

② 所属

③ 連絡先（電話番号およびメールアドレス）

④ 参加時間（午前だけの参加か、午後だけの参加か、午前・午後両方の参加か）

⑤ ノートパソコンの貸与希望の有無について

6. 申込み先：

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同研究拠点係
kenkyu-zenkoku[at]tufs.ac.jp（[at]を@に変えて送信ください）

7. 募集人数：

15名程度

8. 参加料：

無料

9. 応募締め切り：

2010年6月25日（金）

10. 選考方法：

先着順を原則とします。

11. 選考決定と通知：

受講の可否は、6月中に本人あて電子メールにより通知します。

12. 問い合わせ先：

本ワークショップに関するお問い合わせは、AA研言語ダイナミクス科学研究プロジェクト事務局（lingdy-office@aacore.net（[at]を@に変えて送信ください））まで、電子メールにてお問い合わせください。